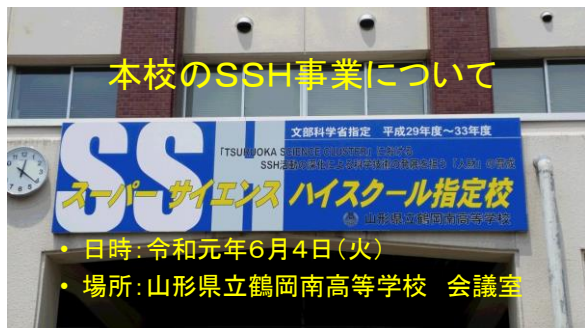


山形県立鶴岡南高等学校



SSH(スーパーサイエンスハイスクール)とは？

- 未来を担う科学技術系人材の育成をねらいとした理数系教育の充実を図る文部科学省の取組。
(SSHの企画は平成14年度から始まり、今年で18年目)
- 高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組の推進。
- 創造性、独創性を高める指導方法、教材等の開発等(教育課程等の改善)の取組の実施。
本校は平成24年度に文部科学省より指定を受けた(1期目:5年間)さらに平成29年度からも指定を受けた(2期目:5年間)現在全国に207校

東北地方他県のSSH指定状況

- 青森県(2校)
青森県立弘前南高等学校、青森県立青森高等学校
- 岩手県(3校)
岩手県立釜石高等学校、岩手県立水沢高等学校、岩手県立一関第一高等学校・附属中学校
- 宮城県(4校)
宮城県仙台第一高等学校、宮城県立仙台第三高等学校、宮城県多賀城高等学校、宮城県古川黎明中学校・高等学校
- 秋田県(2校)
秋田県立秋田中央高等学校、秋田県立横手高等学校
- 山形県(3校)
山形県立鶴岡南高等学校、山形県立米沢興譲館高等学校、山形県立東桜学館中学校・高等学校
- 福島県(3校)
福島県立福島高等学校、福島県立会津津風高等学校・中学校、福島県立安積高等学校

SSHでどんないいことがあるのか？

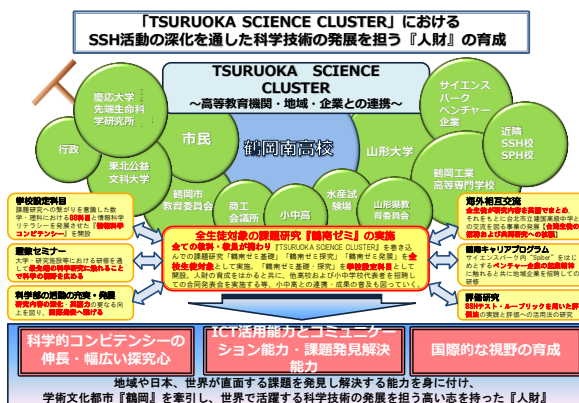
- 学習指導要領によらない学校独自のカリキュラムで教育活動を進めていくことができる。
- 年間750万円の国家予算を使うことができる。

SSHでどんなことをやっているのか？

本校の平成29年度からの取組

「TSURUOKA SCIENCE CLUSTER」におけるSSH活動の深化による科学技術の発展を担う『人財』の育成

※「TSURUOKA SCIENCE CLUSTER」
…地域に根づく最先端の研究機関や大学・企業・自治体、近隣のSSH、SPH校等を総称したものを指す



本校におけるこれまでの取組

- 1 各教科のカリキュラム開発
- 2 探究活動(鶴南ゼミ)の実施
- 3 海外進路研修の実施
- 4 科学部の活性化
- 5 発表会等への参加
- 6 理数セミナーの実施
- 7 進路意識の醸成
- 8 評価法の研究

1 各教科のカリキュラム開発

- 社会と情報 ⇒ 情報・科学コンピテンシー
- 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ ⇒ SS数学
- 物理基礎・物理 ⇒ SS物理
- 生物基礎・生物 ⇒ SS生物
- 化学基礎・化学 ⇒ SS化学
- 地学基礎・地学 ⇒ SS地学
- 総合的な学習の時間・課題研究 ⇒ 鶴南ゼミ

2 探究活動(鶴南ゼミ)の実施

- ◎1年 鶴南ゼミ(基礎) <1単位 火曜7時間目>
7分野(物理・化学・生物・地学・数学・英語・ディベート)
でクラス単位で探究活動の入門編を体験する。
(各3時間、ディベートのみ6時間)



鶴南ゼミ(基礎)のディベート



鶴南ゼミ(基礎)の数学

- ◎2年 鶴南ゼミ(探究) <1単位 木曜7時間目>

以下の15のゼミのうちのいずれかに所属する。

SS探究	物理A	物理B	化学A	化学B	生物A	生物B
	地学	数学	家庭科	保健体育	慶應先端研	
HS探究	社会	国語	英語	芸術		

※SSIはSuper Science、HSIはHuman Scienceの略
グループまたは個人でテーマを決めて探究活動をする。



鶴南ゼミ(探究)の英語ゼミ



鶴南ゼミ(探究)の家庭科ゼミ

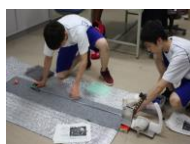
- ◎外部との連携および校外での活動



山形大学農学部との連携



駅前商店街との連携



鶴岡高等との連携



中学校での活動



【地域情報誌クレードルに掲載】

◎発表会

中間発表会(10月)→全員がポスター発表を行う。



全体発表会(2月) →ポスター発表またはステージ発表のいずれかの形で発表する。
1年生はクラス対抗のディベート大会決勝を行う。



他校からの発表			
H29中間	H29全体	H30中間	H30全体
加茂水産 庄内農業	加茂水産 鶴岡工業 酒田光陵 酒田東	加茂水産 酒田東 酒田南	加茂水産 庄内農業 鶴岡工業 酒田光陵 東桜学館 新庄東
5テーマ	9テーマ	8テーマ	10テーマ

◎3年 鶴南ゼミ(発展) <1単位 木曜7時間目>

国語、数学、英語および学問研究(AO・推薦入試への対応)の各分野で探究活動をする。



鶴南ゼミ(発展)の数学



鶴南ゼミ(発展)の英語

3 海外進路研修の実施

平成25年度から毎年1回(現在は11月中旬)本校2年生徒全員が進路研修で台湾に行き、台北市立建国高級中学の生徒と研究発表交流をしている。

～台湾から台北市立建国高級中学来校～

台北市立建国高級中学が訪れました。
1回目は平成29年4月18日、生徒54名と先生方
2回目は平成31年4月16日、生徒34名と先生方
学校見学、交流セレモニー、花見をして交流を深めました。



4 科学部の活性化

山形大学農学部と連携した研究活動を平成20年度より継続して行っている。また、慶應義塾大学先端生命科学研究所の特別研究生となる生徒もあり、良い刺激となっている。



全国高総文祭で発表



山形県探究型学習課題研究発表会で発表

5 発表会等への参加

- ・発表会・コンテスト・学会
- ・他校の発表会
- ・オリンピック系



日本生物学
オリンピック
銅賞
高橋航

他校で発表	
H29年度	H30年度
加茂水産	加茂水産 東桜学館 酒田東
3テーマ	10テーマ

6 理数セミナーの実施

◎理数セミナーⅠ

4月下旬
宮城研修
理数科2年生対象



◎理数セミナーⅡ

3月下旬
つくば研修
理数科2年生対象



7 進路意識の醸成

◎鶴南キャリアプログラム

- 1 起業に関する全体講演会
- 2 鶴岡市内の企業(20社ほど)に本校に来ていただき、体育館にブースを作って企業説明会をする



◎探究活動の内容を進路決定へ結びつける

東北大学、慶應義塾大学をはじめとする各大学のAO入試、推薦入試では探究活動の経験が大きなモチベーションとなり、力強いアピールができるようになる。

大学進学実績

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
国立大学合格者数	128	102	118	119	143	128	131	132	123	118	126
平均	116.8(SSH採択前)				128.7(SSH採択後)						
東京大	2	1	1					1	2	1	1
京大	1				3			1			
東京工業大	1		1		1						
一橋大			1	1		1	1			1	
難関大	8	17	7	11	8	12	18	13	11	16	8
医学科	1	1			4	1	1		1	1	6
上記難関大等合計	13	19	10	12	16	14	20	15	14	19	15
上記難関大等平均	13.5				16.1						

※ 難関大とは東京大、京大以外の旧帝大5大学とお茶の水大と東京外国語大

8 評価法の研究

➤ 課題研究(鶴南ゼミ)の評価方法について

担当教員による評価
鶴南ゼミ発表会での教員による評価
ルーブリックを用いた自己評価

➤ SSH事業全体の評価方法について

各種アンケートの実施
思考力等を測る民間業者テストを実施
運営指導委員からの評価
卒業生追跡調査

令和元年度のSSH事業について

1 鶴南ゼミの内容の充実

- 校外経験の持ち帰り・共有
- 上学年からの継承
- 先行研究の徹底調査

2 連携と発信の強化・拡大

- 近隣の高等学校との連携
- 小中学校との連携
- 地域との連携

3 評価方法の研究

- 鶴南ゼミの評価方法の改善
- 中間ヒアリングに向けた事業評価・総括

4 予算削減の中での適切な事業運営

- 事業の見直し



ご清聴ありがとうございました。